

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2022年度以降）

開講科目名 / Course	一人ひとりが輝く人生を生きる / Think about a society where each one can live a fulfilling life		
時間割コード / Course Code	R1001095_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第1クォーター / 1Q		
曜限 / Day, Period	他 / Otr		
開講区分 / Semester offered	前期 / the former term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	山崎 由可里 / Yamazaki Yukari		
授業形態 / Lecture Form	講義・演習		
教室 / Classroom			
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	課題解決力と自己学修能力	3
		地域への関心と国際的視点	7
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	森 麻友子 (大学共通)、武田 鉄郎 / Takeda Tetsuroh (教育学部 (教員))、山崎 由可里 / Yamazaki Yukari (教育学部 (教員))、古井 克憲 / Hurui Katsunori (教育学部 (教員))、則定 百合子 (教育学部 (教員))、吉田 道代 / YOSHIDA Michiyo (観光学部 (教員))		
授業の概要・ねらい / Course Aims	本科目は、「一人ひとりが輝く人生を生きられない(生きにくさ)」ことを生じさせる原因やそれを解決していくにはどうしたらよいかについて考えるものである。毎回、さまざまな視点からの講話を聴き、それに基づいて「生きにくさ・生きづらさ」について考え、協議する。このことを通して、「生きにくさ・生きづらさ」の要因や解決の方向性について、受講生が自らの問題として考え、提案することをねらいとする。		
到達目標 / Course Objectives	受講生が、「一人ひとりが輝く人生を生きる」ことを妨げている原因や結果を説明できる。それが地域課題であることを、根拠を示して説明できる。 自分やその周囲で一人ひとりが輝く人生を生きることに関心を持っている人がいる場合を想定し、その原因を分析し、支援案を示すことができる。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	担当者が課題を課し、それを個別に評価して、その合算値を以て全体の成績とする。		
教科書 / Textbook	全体を通してのテキストは特に定めない。		
参考書・参考文献 / Reference Book	武田鉄郎編著 (2017) 発達障害の子どもの「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ - 叱らないけど譲らない支援・学研プラス 吉田道代 (2015) 「同性愛者への歓待 見出された商業的・政治的価値」『観光学評論』3(1), 35-48. (J-Stageからダウンロード可能)		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	・毎回担当の講師が異なります。授業中、ディスカッションする時間をとることがあります。積極的に議論に参加するように意識してください。 本科目は岸和田サテライト (大阪府岸和田市) で開講される科目です。授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要のパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	特にありません。		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	特にありません。		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	授業後、内容の復習をしっかりと行ってください。予習課題を必要とする場合には、担当講師から事前に連絡します。		
その他連絡事項 / Other messages	特にありません。		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2022年度以降）

授業理解を深める方法 /How to deepen your understanding of classes	この授業では、講義形式をとりつつ、担当者によっては協議の時間をもちます。また、第2回、4回、6回では、教員による講義のほか、講義内容に関係する方にゲストスピーカーとしてご講話いただきます。「ひとりひとりの人権・人格が尊重され、自己実現できるような社会を実現するためにどうしたらいいのか？」ということ意識しながら、講義に臨んでください。
オフィスアワー /Office Hours	主担当である山崎は、水曜日と木曜日昼休みをオフィスアワーとします（会議などある場合は除く）。事前にメールで連絡いただければ日程調整します。 yukari25@wakayama-u.ac.jp 研究室は、特別支援教育コース棟（東4号館）2階実205室です。
科目ナンバリング /Course Numbering	C08021J1011131h1

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
第1回(4/22)13:00-17:00	教育学部 則定百合子 教育学部 古井克憲 教育学部 山崎由可里	「一人ひとりがかがやく人生を生きられない(生きにくさ)ことを生じさせる社会的背景・要因とは?」をテーマにしたパネルディスカッション	
第2回(5/6)13:00-17:00	教育学部(名誉教授) 武田鉄郎	「発達障害のある子どもの二次障害への対応と予防」	ゲストスピーカー 北岡大輔氏(教育学部附属特別支援学校)
第3回(5/13)13:00-17:00	観光学部 吉田道代	「旅行する権利とセクシュアリティ」	
第4回(5/20)13:00-17:00	学生相談・障害学生支援 森麻友子	「近年の青年はどのようなことに悩んでいるのか」	ゲストスピーカー 上安涼子(保健センター非常勤講師、臨床心理士、公認心理師)
第5回(6/3)13:00-17:00	教育学部 古井克憲	「子どもの権利と「ヤングケアラー」について考える」	
第6回(6/10)13:00-17:00	教育学部 山崎由可里	「自分らしく生きる力をはぐ組む青年期教育とは?」	ゲストスピーカー 調整中